

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		友愛メルヘン橋整備(都市再生整備計画事業)						予算事業名		エレベーター整備事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				08	03	07	2501	経常経費						
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業				
		2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)								重点事業				
		①計画的な市街地の形成						担当課係等		都市計画課				
		4友愛メルヘン橋の改修								住宅公園係				
事業期間		新規 (令和 2年度～令和 6年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
結城駅に係る自由通路である友愛メルヘン橋は、バリアフリー化されていなかったことから、北部と南部の人、商業、観光等の流動の妨げとなっており、エレベータを設置することにより、人の流動を活性化させ、市街地の回遊を楽しめる空間を提供する。							地域住民及び観光客等を対象とした整備							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
都市再生整備計画事業【地域基盤整備事業】 R2 友愛メルヘン橋自由通路エレベータ及び人工地盤計画設計委託							地域住民及び観光客等を対象とした整備							
							【事業をとりまく環境の変化】 庁舎移転に伴い、駅に訪れる人、メルヘン橋利用率も変化することが予想され、バリアフリー化することにより、自由通路の利便性が向上することから、多少なりとも、観光・商業の活性化に寄与できることを期待する。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
友愛メルヘン橋自由通路 バリアフリー化実施設計委託				友愛メルヘン橋エレベーター工事										
■事業費														
				R01年度		R02年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	1,020							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	0	1,823							
歳入計(千円)				0		2,843								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)								
	12 委託料			0		2,843								
歳出計(千円)(A)				0		2,843								
伸び率(%)						皆増								
備考	総合計画 ページ 予算書 ページ													

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	エレベータ設置に係る委託業務	箇所	目標	0.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	エレベーター工事	棟	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	庁舎移転に伴い駅を中心とした人の流動が変化することが予想される為、施設改修や改善することは必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共施設のため整備は市で行うべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	国の交付金事業である、都市再生整備計画事業により行う事業である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	交付金、起債など計画を立て活用し、コスト削減に努める。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民及び観光客等を対象とした整備を目指している。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
都市再生整備計画事業に位置付けた整備であり、年次計画を立て、令和4年度までに整備完了を目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 市街地の北部と南部をつなぐ自由通路をバリアフリー化することにより、全ての地域住民や観光客の利便性や流動性を大幅にアップさせることが可能となる。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	